

●●● 主な記事 ●●●

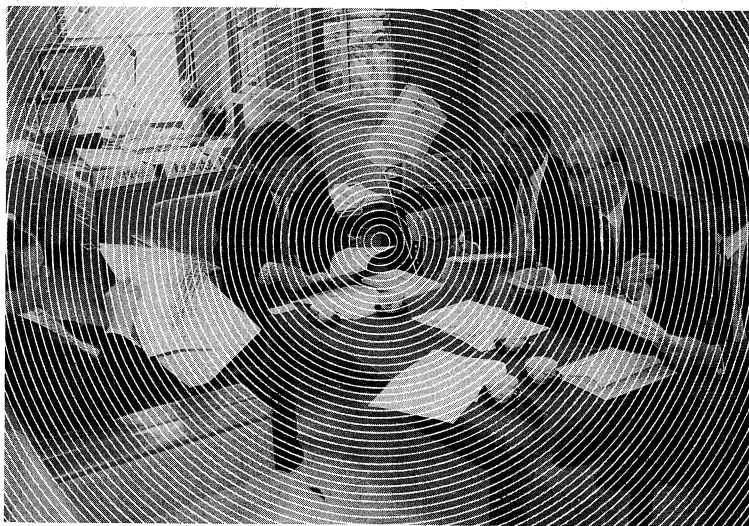
- 2面 (特集) 阪神大震災
- 3面
- 4面 ちょっと聞いて 〈11〉
- 5面 新年号コンクール
- 6面 記念碑めぐり (最終回)

発行所
石川県保険医協会
金沢市尾張町1丁目9番11号
〒920 尾張町レジデンス2F
電話 (0762) 22-5373番
発行人 平松昌司
印刷所 ユーアイ印刷

石川保険医新聞

石川県の入院給食費助成制度

厚生省の言いなり 全国最低の助成内容に



石川県は保険医協会をはじめ多くの県民の悲痛な願いを無視して、入院給食費助成制度を対象、金額ともに全国で最低の内容にした。(写真は、昨年11月24日に行った入院給食費助成の申し入れ)

二月十七日、石川県は一九九五年度予算案の概要を発表した。昨年十月に国民の反対を無視して導入した入院時食事療養費は、重度障害者や低所得者層に大きな打撃となり、十一月に保険医協会

が実施した「入院給食・付添看護119番」では、多くの悲痛な訴えが寄せられたことは記憶に新しい。保険医協会は同十一月二十四日、即座に県知事および県議会議長あてに心身障害者や乳幼児、老人らに対する入院給食費の助成を求めた陳情書を提出した。全国では、昨年末までに二十七の都府県で助成が行われているが、東海北陸では石川、富山両県のみが未実施になっていた。

石川県保険医協会 第21回定期総会ご案内

(とき) 3月26日(日)午後5時～8時
(ところ) 金沢都ホテル 7階「飛翔の間」
(次第)

- ◆第1部「特別企画」5時～6時半
▷阪神大震災医療活動の実態報告
- ◆第2部「定期総会」6時50分～8時
▷1994年度活動報告
▷1995年度活動方針
▷決算・予算
▷役員改選
※2面をご参照ください。

(申込み) お電話で協会までお申し込みください。

持論

阪神大震災は未曾有の大被害をもたらした。五千人を超す死者が出る状況下で、医療施設も損壊し、電気・水道も止まった。多くの死傷者が次々と医療機関に担送され、救急医療を受けることになった。その模様をNHKテレビが先日特集報道している。NHKは、時間の経過とともに医療機関がどう対応したかを批評を交えずに、克明に調べ上げて報道している。その中で浮かび上がった問題点を指摘して、今後の自然大災害に備える一助としたい。

まず、医療機関そのものが損壊する状況下にあっては、その損壊した医療機関が提供できる

の中の病院には収容能力以上の患者が運び込まれ、野戦病院化したという。電気・水道も止まった中で、十分な手当ても施せないまま時間が経過して行った。高度の医療を受けさせるために

阪神大震災から 災害時医療を考える

医療は極めて限られたものになるというのである。それに加えて、神戸市では救急医療の要として整備した基幹病院が、アクセスの関係で全く機能しなかったという事実がある。被災地

は、損壊していない病院への送が急務であったが、通信手段も途絶していた。一方で大阪府のある救急病院では五十ベッドを用意して待機したが、最初の患者が担送され

て来たのは夕方であったという。それも被災していた医師の個人的な判断によるもので、本格的な患者の輸送には、地方自治体からの要請が必要であった。被災地の病院は情報的にも孤立化

し、隣県の医療機関が待機していることを知る術もなかったという事実は重い。厚生省が、救急患者の受け入れ可能病院のリストを作成し、ファックスで送ったが、それも被災地の病院には届いていなかった。また、クラッシュ症候群と呼ばれる大震災特有の急性腎不全患者が大量に発生し、緊急透析が必要であるにもかかわらず、それが思うようには進まなかった。

今後の救急医療体制をどう構築するかは大問題であるが、救急車には無線がついていることを思うと、これをどう系統付けて非常時に備えるかが一つの鍵になりそうである。

いる者で、市町村民税非課税世帯」に限られている。この場合、実際に対象となるのは心身障害者で約一〇%、乳幼児で三%未満と、極めて対象が限定され、多くの患者が助成対象から外されることになる。

さらに助成額を見ても、と、二十九日までの入院には全く助成されず、継続入院が三十日につき六千円と入院給食費負担金の三分の一以下に抑えられている。石川県は、なぜこのような利用しにくい、利用価値の稀薄な制度を作ったのか？石川県が示したこの度の極めて貧困な助成制度は、「入院給食費の助成は必要ない」とする厚生省の弱者切り捨て政策を順守し、かつ、県民には「当県に助成制度あり」というアリバイづくりのための制度である。

保険医協会では、県民の願いや私たちの陳情書の趣旨を無視した県知事並びに県厚生部に対し、遺憾の意を表明すると共に、即刻改善するよう近く県当局に申し入れを行うことにしている。

医心凡話

子供たちの間の「いじめ」、大人たちの「金のため殺人」、若者の「他人への無関心」などと、近ごろの新聞やテレビを見ていて、日本人は利己的で人間に変わってしまったのかと思っていたが、今度の阪神大震災の後の援助行為でその考えも吹き飛んでしまった。中部北陸に販路を持つ中日新聞社に、六十億円を超える義援金が集められたのである。ほかの新聞社では、読売三十億、朝日二十一億、日経十一億、産経六億、毎日五億というところを見ても、いかにこの地方の熱意が強いかが分かる。しかもその大多数は個人募金であるという。

名古屋地方では一九四四年十二月に東南海地震、一九四五年一月に三河地震、一九五九年に伊勢湾台風などで大被害を受けている。また、北陸では一九四八年に福井地震があった。被災の経験を持ち、他人の援助のありがたさを知ると黙っていられないのではないかと、人間として実に美しい行為である。それにしても地震を知らない小中高生までも校内募金、街頭募金と頑張ったのには心打たれる。家庭での語りの中で、子供たちが親の思いやりに感じ取ったのであろうか。

「他人の苦しみに救いの手を出すのは、同じような苦しみを味わった人たちである」との実験心理学の結果はやはり本当であった。

マスコミが報道した

「震災後」

特集 阪神大震災

わずか二十秒で地震は近代都市を瓦礫に変えた。昨日まで幸せに暮らしていた人々が、今日は避難民となる。燃えくずの中で、身内の骨片を持ってあせんと立つ少女の写真には、無情感が体を吹き抜ける思いがする。阪神大震災から一カ月半、マスコミ報道から心に残ったものを集めてみた。

▼「私たちは借り物の時間を生きていた。金よりも大切なものがあると、もっと早く気が付くべきだった」と感じた。(コロンビア大、日本専門家、ジェラルド・カーチス) ▼「人を救うのは人しかいない」(テレビ広告塔) ▼阪神大震災で半壊した西宮市のマンション(メガロコップ西宮)で、脱出した住民たちは、ドアをけ破ったり鉄格子を壊したりして逃げ遅れた人たちが部屋の中から助け出し、な、おれの稼ぎが悪うて

百八十所帯五百人以上、全員無事だった。(朝日新聞・一月二十三日) ▼復旧活動や避難生活を支援しようと各地からボランティアが続々と被災地入りし、精力的に活動している。神戸市災害対策本部に登録したボランティア志願者は、二十日午前九時までに三千件を超え、人数は四千六百人に達した。「受付専用の電話は鳴りっぱなしの状態」(日経新聞・一月二十一日) ▼生き埋めとなった夫婦が、がれきの下で励まし合った。「悪いな、おれの稼ぎが悪うて

大きな家に住めへんかったからや」「そんなことないよ、あんた」遺体安置所で早苗さんのひつぎに寄り添いながら保男さんは「つらいが、生き埋めになりながら話したことは一生忘れへん」(毎日新聞・一月二十日) ▼京都市役所に十九日、一市民と名乗る老人が現われ「兵庫東南部地震の被災地の方に」現金二千万円を手渡して去って行った。(産経新聞・一月二十一日) ▼遺体安置所では、韓日双方の犠牲者の遺族が、お互い慰め合う場面を見た。持ってきた食べ物を譲り合う光景もあった。国籍を越え、心の痛みを共有している。(朝鮮日報) ▼多くの国が支援を申し入れた。アメリカは毛布、フランスからは地震の専門家、スイスからは救助犬と災害救援隊、イギリスはビニールシート、ポリタンク、プラスチック食器、スロバキア捜索要員と捜索犬の申し出、ブルネイは飲料水、韓国はインスタント食品と支援助資百トン、中国は義援金十萬ドルと保存食、オーストラリアは飲料水 百万トン。(ニューズウィーク・二月一日) ▼

神戸市も大阪市も、活断層が走り地震の可能性が高い地域として、国の「特定観測地域」に指定されました。実際、今回の甚大な被害の多くは地下の活断層に沿った地域に集中しました。しかし、力を入れてきたのはもっぱら開発。神戸市は一九八六年、ようやく防災計画をつくりましたが、専門家が「神戸市は断層の巣であり、直下型なら震度6がありうる」として大被害を試算したにもかかわらず、「対策にお金がかかりすぎる」として、震度想定を5とし、防火水槽の大幅な増設など抜本的対策を見送っていました。国の来年度予算案で、地震関係費はわずかに百億円余り。年間四十兆円もの開発

震度想定「5」で町づくり

都市で5千人が死ぬのは人災だ!!

型公共事業費とくらべると「ゼロに近い」のが実態。阪神大地震の震源地の淡路島では、一市十町すべてが反対する中、昨年春から気象庁の洲本測候所が夜間無人化されていました。行革で、全国九十七カ所の測候所は三十四カ所まで夜間無人。一九九五年度はさらに八カ所が夜間無人となります。

直下型地震の危険がある都市部では、地下三千メートルに深井戸式の地震計が必要なのに神戸市にはなく、あるのは首都圏だけです。地震は天災ですが、米国の専門家の「都市で五千人が死ぬというのは人災だ」という指摘を根本から考え直さなければなりません。(連合通信)

「心を変えると世界は違って見える。人の心の神髄は、他への慈しみである」(ダライラマ法王、MROテレビ、データースペース、三月二日)

石川県保険医協会第21回定期総会 《特別企画》

阪神大震災医療活動の実態報告

保健・医療・福祉の分野で
ご活躍の皆様へ
ぜひ、ご参加ください

死者5,480人、そして32万人の被災者を出したこの度の阪神大震災は、現在さまざまな問題を投げかけています。確実に言えることは、今後また起こりうる大地震に対して、これまで採られてきた安全基準、震災対策予算、防災システムなどでは何の役にもたないことがはっきりとしています。重傷の救急患者を搬送する救急車が、交通マヒで立ち往生して患者が亡くなってしまった…という二次災害も起きています。また未だに12万人いる避難所生活を強いられた住民は、地震後一度も風呂に入らず、食事は朝夕冷たいおにぎりやパンのみといった人が少なくありません。心身共に限界の状態です。特に老年寄りや障害を持つ人、慢性疾患患者らの命は危機的です。

被災者の命を救うための医療がその力を十分に発揮できないことは、私たち医療関係者にとって最も悲しいことです。被災者の命をこれまで守ってきたのは、自らも被災し、ライフラインの閉ざされた中で懸命の医療活動を行ってきた地元の医療関係者らであり、二次災害の恐怖を乗り越えて駆け付けた多くのボランティアたちの献身でした。

保険医協会ではこの度、不眠不休で現地の医療活動を支えてきた兵庫県保険医協会の事務局員と、石川県から医療支援のために現地に駆け付けた医療関係者らをお招きし、その報告会を企画しました。新聞やテレビで報道されなかった現地の生々しい状況をお聞きし、参加者全員で今後の大災害時の医療供給体制について考える機会にしたいと思います。多数の保健・医療・福祉関係者の参加をお待ちいたします。

●とき

1995年 3月26日(日)
午後5時～6時半

●ところ

金沢都ホテル
7階「飛翔の間」

●パネリスト

- | | | |
|--------------------|---------------|-------|
| ① 震災直後の医療支援に参加して | 城北病院産業医療科医長 | 服部 真氏 |
| ② 震災からみえてきたもの | 同 看護婦 | 泉 康子氏 |
| ③ 震災1カ月後の医療支援に参加して | 浅ノ川総合病院神経内科医長 | 江守 巧氏 |
| ④ 被災地神戸からの実態報告 | 兵庫県保険医協会事務局次長 | 高山忠徳氏 |
| | 石川県保険医協会副会長 | 高松弘明氏 |

●参加対象

医師、コ・メディカル、保健婦、福祉関係者など

●参加申し込み

お電話にて保険医協会まで

主催 石川県保険医協会

☎ 0762 (22) 5373 FAX31-5161

兵庫協会の支援に 石川から事務局員を派遣

二月二十日から二十三日にわたり、保団連および兵庫県保険医協会からの要請を受け、第三次支援活動に石川協会から杉野事務局員を派遣し、被災した兵庫協会会員の訪問活動に参加した。石川協会からは震災の翌十八日に、「要請があればいつでも事務局員派遣の用意がある」旨のお見舞い・激励文を保団連対策本部に送付しており、この度の派遣に至ったもの。

現地レポート

地図と見舞金を背に バイクで兵庫区へ

事務局 杉野洋一郎

二月二十日に現地入りし、翌二十一日から三日間、被災した兵庫協会会員の訪問活動(第三次)に参加した。訪問活動は、全国から駆け付けた九人の事務局員が西宮事務所と神戸事務所に分



やっと目標の医療機関にたどり着いても、人の気配のない診療所も多い

私は兵庫区の担当になり、約三十人分の会員の被災状況、連絡先などが記された個別のカードを手渡された。初めて訪れる土地なので、まず、兵庫区までの道順を確かめ、訪問予定の会員の所在地を兵庫区の地図にマークする仕事から始めた。

被災会員への見舞金は、全半壊が三十三万円、一部損壊が六万円、初日は全壊の訪問が多かったため、二百万円余りの見舞金と地図など必要書類一式をディ

バックに詰めた。

防寒服に身を包み、防塵マスクとゴーグルを着けてヘルメットをかぶった様子は金沢なら警察の職務質問に合いそうないで立ちだなど苦笑いながら、二十年前に乗り回していたバイクのエンジン音をスタートさせた。

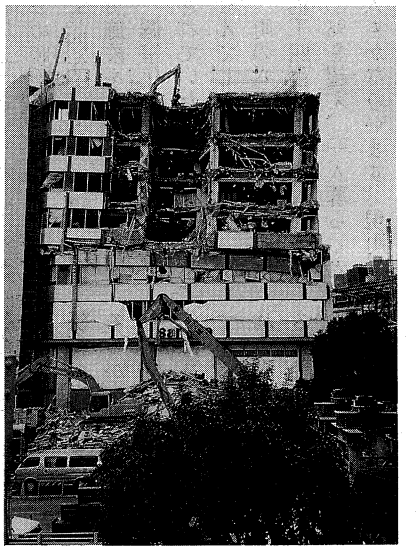
バイクの運転そのものは四、五分でカンを取り戻したが、神戸はとにかく道路が広く、その上、一方通行だらけで、一旦道を行き過ぎると、とんでもない大回りをしてもらなければならなくなる。しかも朝の国道二号線は大型車がガンガン走り、かなりのスピードの流れに乗らなければかえって危ない。金沢の道路が田舎道に思え、神戸の交通事

診療所は無事でも さまざまな後遺症が

一部損壊の医療機関は、午前中のみ、あるいは週三日診療などの一部診療を始めていた。兵庫区ではほんの一部だが電気・水道・ガスの復旧した医療機関もあり、震災前と変わりなく診療を始めた医療機関も一、二件あった。ただ外見上は被害の無い医療機関であったも、近所の患者さんの家が多数被害に遭っていることから診療室は必然、暗い雰囲気になり、「これまで

患者さんと共に充実した日々を過ごしてきたが：」と、寂しさだよわせる歯科医師の姿が印象的だった。また、診療所近辺の住宅の被害著しく、患者数が激減した、という皮膚科診療所の院長の話も深刻であった。

そのほか自院の損壊はさほどでもないが、隣のアパートが半壊で完全によしかかっており、落ち着いて診療ができないという産婦人科の診療所もあった。



あちこちで解体作業が

科の診療所もあった。いずれにしても一部損壊の診療所であっても、単に壁のヒビを直せばそれでいいということではなく、様々な後遺症を抱えていた。

さて、全壊の医療機関ともなれば当然ながら事態は一層深刻である。診療所が全壊した先生とお会いするには、主に自宅をたずねることになるが、中には自宅共々被害を受けてご親戚宅に所在を移している先生もいた。

全壊した医療機関でも状況はさまざまで、違った場所での再建のために奔走中であつたり、倒壊した診療所を掘り起こして使えるも

のをできるだけ自宅に運び込み、自宅で診療を開始している先生もいた。一方、大変な苦労を抱えながらも驚くほど元気な先生も少なくなかった。保険医協会の名前で、しかも石川県から支援に来たことを話すと、一様に喜んでいただき、震災当時から今後のことなどについて、じっくり話を聞かせてくださった。

見舞金をお渡しすると、「こんなにももらえるん、ありがたいわ」と心から喜んで下さった。「ふるに入れんかったらうちのを一つつけてな」と逆に励まされた。どうしてこんなに元気になれるのか少々不思議になったりもしたが、「もう、やけくそやわ」と言う一人の先生の言葉に妙に納得させられた。

幸い、私がお会いした先生のご家族はみんな無事だったことが、本当にうれしかった。

救援物資の列に並べる 人はまだいい……

できるだけたくさん訪問したかったのと、トイレを使いたくなかったため、昼食は食べなかった。避難所の姿や、自衛隊の救援物資をもらうための二百メートルの列を見ると、空腹感はなく起きなかった。のどが渇いたので、朝、兵庫協会から貰ったチオピタドリン

クを出して飲もうと効能書きを読むと、「虚弱体質」「栄養障害」などと書いてあった。なんとなく飲むのが悪いような気になり、飲むのをやめた。

三日間を通して、様々なものを見、様々なことを感じた。被災した兵庫の先生方に再度、心より激励申し上げたい。

港近くの住宅街にたまたずんでいたおばあさんが、「救援物資の列に並べる人はまだいい。病気で並べん人もたくさんおる：」と言っていたのが、気がかりだった。寝たきりのお年寄りや障害を持つ人たちは今どうしているのかを考えると、逃げ出したい気持ちになった。

特集 阪神大震災

富山個別指導事件への厚意に感謝
 一昨年の富山個別指導事件、昨年の同一周年集會に、全国各地の保険医協会の皆さん、保団連の皆さんが富山協会に寄せられました。ご厚意に対し、ここで改めてお礼申し上げる次第であります。どうもありがとうございます。

行政手続法に保険医は大いに期待
 さて、行政手続法は、国民の権利・利益の保護を目的として昨年十月より施行されましたが、私たち保険医は本法によって、保険指導・監査において私たちの権利・利益が従来よりも確実に守られるものとして、大いに期待しているところがあります。茨城大学教授の新井先生は「指導官などによる個別指導でこれまでひどい目に遭わされてきた第一線の保険医たちにとっては、まさしく『千天の慈雨』と云ってよいであろう」と『月刊保団連』で述べておられます。また、弁護士

の青木先生は「行政手続法は行政指導を受ける側にとっては、今後、ある面では非常に強い発言力の根拠となるところではないでしょうか」といふ問いに対し、「本法の規定は、『後ろ盾』になると思います」と答えておられます。千天の慈雨、後ろ盾と、表現は違いますが、行政指導において行政手続法が保険医の権利を守るために大いに役立つことを述べていることは同じです。

第33回保団連総会での富山協会の発言 期待される行政手続法

富山県保険医協会会長 田中悌夫

医療分野の関係者に行政手続法の十分な勉強をすすめ、これを活用してより開かれた行政に向かって努力し、自らも発言すべきであると言っておられます。一方、厚生省は医療指導監査室長が「健康保険法で

す。そして二人の識者とも、医療分野の関係者に行政手続法の十分な勉強をすすめ、これを活用してより開かれた行政に向かって努力し、自らも発言すべきであると言っておられます。一方、厚生省は医療指導監査室長が「健康保険法で

富山県 特養ホームおらはうす

宇奈月町 施設紹介

全国初の個室制

富山県宇奈月町の特別養護老人ホーム「おらはうす宇奈月」(定員五十人)は、公的施設としては全国で初めて個室制を採用したこと

富山県宇奈月町の特別養護老人ホーム「おらはうす宇奈月」(定員五十人)は、公的施設としては全国で初めて個室制を採用したこと

ちょっと聞いて (その11)

先日のニュースではプログラマーや歯科医師など手をよく使う働く女性にシビレを訴える人が増えているそうです。

女性の手のしびれ

浅ノ川総合病院神経内科 江守 巧



疾患などありますが、妊婦や出産などを契機に起こることもあります。知覚の障害が手のひらと指から薬指の半分に限られ、「早期に手から腕の鈍い痛み(シビレ)で目が覚める」と訴えれば、ほぼ本症と診断できます。

全国ほとんどの自治体で「保健婦が足りない」

日本看護協会の調べによると、「保健婦が足りない」と答えたのは、回答した市区町村長六百三十四人の八八%、保健所長(回答六百四十一人)の八八%に達し、ほとんどの自治体が看護婦不足

囲碁解答

基本的な打ち方です。覚えておくと便利です。



本紙を使って機関紙における写真の役割について説明する審査委員

写真についての話題もあ...

95年新年号コンクールで「佳作」と「写真賞」を受賞

日本機関紙協会が主催して毎年開かれる新年号コンクールに、本紙は今年も応募しました。

二月十八日に東京芸術劇場で開かれた新年号コンクール発表・表彰式には、全国様々な団体から百三十二人の機関紙担当者が集まって開かれました。

「貸/売」診療所情報

※ドクターが急逝されたため、内科診療所の借主または買主を探しています。

所在地 石川郡野々市町矢作4-20

物件 木造モルタル2階建

Table with 2 columns: 階数 (1階, 2階, 合計) and 面積 (224㎡, 40㎡, 264㎡)

※1984年新築・1993年12月改装

主な医療器機

- X線テレビ装置 ●内視鏡(胃、大腸ファイバー) ●心電計 ●レセプトコンピューター ●エコー装置

※賃貸も売却も可。

お問い合わせは

石川県保険医協会まで ☎ (0762) 22-5373

石川保険医新聞

写真賞おめでとうございます。一面の子供たちの表情は、大人にすがすがしさすら覚えさせるもので、絶好の場面をとらえています。

シリーズの『ちょっと聞いて』の話題もたいへんおもしろく読みました。4~11面は内容的にはたいへん深いものがあり読みごたえがあります。

新年号コンクール審査委員 坂野直子



「佳作」「写真賞」の賞状と盾が贈られた

写真技術は絶対的に必要という点では「石川保険医新聞」の編集方針と合致します。

核戦争を防止する石川医師の会 第8回総会記念 公開講演

ちひろの世界 今、ほんとうのやさしさを求めて

■とき 4月1日(土) 午後2時半~午後4時

■ところ アートシアターいしかわ ラブロ片町7F TEL (0762) 20-1888

核戦争を防止する石川医師の会

松任市乙丸町249 登谷医院 TEL (0762) 75-0575

講師

いわさきちひろ絵本美術館 副館長 松本由理子

1952年 千葉県に生まれ17才まで金沢で育つ。1977年東京芸術大学音楽部楽理科卒。

参加費 無料

当日、会場で輪島市の清水正明医師の被爆絵画展やちひろの複製画展、グッズ販売も行います。(正午~午後7時)

栗野利雄先生の 記念碑めぐり

(60・最終回)

猿鬼伝説

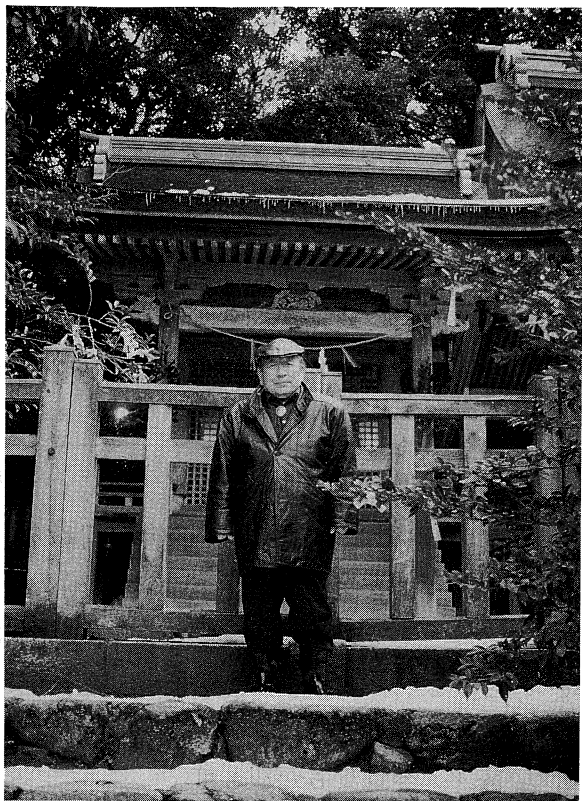
(鳳至郡柳田村)

柳田村の地名に残る 猿鬼の痕跡

鳳至郡柳田村当目の地に、神代からの伝説として、当日岩井戸神社(猿鬼の宮)の縁起物語が伝えられ、猿鬼信仰の原点をなしている。

当日にある岩屋には、早くから猿鬼の集団が住みつき、少女をさらい、田畑を荒らし回るなど、良民の略奪暴行を繰り返していた時代があった。これを見兼ねた八百万の神々は、事態収拾のために出雲の国に集い、猿鬼退治の相談を開始。相談の結果、極楽寺を

一宮氣多大神を大将軍とし、三井(みい)の神杉姫を副將軍として派遣した。氣多大神は、草木を集めて毒薬を作り、弓毒矢(破魔矢)で猿鬼の目を射る。当日の地名は目を射られた所。黒川は猿鬼の黒い血が川となって流れたところ。大箱は、おおぼこを取って目を洗ったところとされ、地名の起源となっている。極楽寺には、「騎寄」神休の地名が残っている。神杉姫が十二単衣を着



猿鬼退治の大將軍となったのは、能登一の宮氣多大神といわれ、その氣多大社を取材する栗野先生

飾り、猿鬼をおびき寄せが逃げられる。そこでまた一計を案じ「白布千反に御身を隠し、筒の矢で射させたまえよ、神杉姫」との託宣を受け、琴三味線で歌を歌い、猿鬼をおびき寄せ、三条小鍛

治宗近の名剣を振るい首をはねた。大箱村の川辺に塚を築いて猿鬼の遺骸を埋めたが、今度は亡魂が祟り始めた、神杉姫は普化僧となって剣と骨を仏前に供奉し、大般若経を誦誦し善

提を甲い猿鬼の霊を成仏させた。やがて猿鬼の骨は西に飛び去り仰西寺には剣を奉納する。鬼切丸の名の由来である。京洛の北にも源頼光の大江酒呑童子鬼退治の故

の地方版ともいうべきか。坂上田村麿の鬼退治(ねぶた祭りの起源)の伝説もその一環といえるのではないか。能登にある「アマメハギ」など、今もって「鬼信仰」の行事が健在である。猿は山に

住んで集団をなし、田畑を荒らした。こうした属性が猿を神格化し、妖怪化し、魔性を高めて猿鬼化した人間と考えせしめた原因であったのではなからうか。

本シリーズは今回をもって終了します。ご愛読ありがとうございました。

栗野先生のご意向と当初からの予定により、本シリーズを終了させて頂くことになりました。長期にわたって取材・執筆を続けて頂いた栗野先生に心よりお礼申し上げます。共に、今後も新分野のご寄稿をいただきますよう、よろしくお願いたします。(編集部)

新刊紹介

待合文庫に最適

『サービスと医療費がわかる
病院選びの本』 朝日健二著

昨年十月の改正で、医療サービスの施設基準や保険外負担の内容を院内

サービスと医療費がわかる 病院選びの本

朝日健二



朝日健二

昨年十月の改正で、医療サービスの施設基準や保険外負担の内容を院内

適切な医療機関を選択できるようになった。本書は、公開される情報の見方、内容を患者向けに解説するという、ユニークな試みに挑戦している。また、医療費の仕組みや保険証の使い方を詳しく述べるとともに、新看護付添看護、入院給食、薬剤規制などの制度改正、これから問題となる医療法改正、企業の在宅医療参入、臓器移植などの問題点を開業医の立場に立って解説している。

患者さんの目に触れれば診療報酬の改善・引き上げの重要性が理解してもらえらるであろうし、医療担当者が読めば患者か



ケガ、病気の備えは大丈夫ですか?

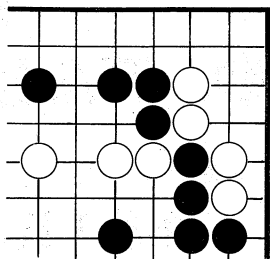
安い掛け金、大きな保障 保険医休業保障制度

1995年度 募集 ただ今予約受付中

(募集期間 4月・5月)

◎お申し込み・お問い合わせは協会事務局まで
☎ 0762 (22) 5373

出題者 七段 向井富治 (金沢市・内科)



高林共平師範と小西敏春三段の対局に現れました。黒番です。

秋のレクリエーション (速報)

飛行機で行く

スペースワールドと

福岡フリーツアー

9月23日・24日(連休)

◎詳しくは、後日案内チラシなどでお知らせします。